

## はじめに

福岡県は、豊前海、筑前海、有明海の3つの海に面し、英彦山や脊振山などの山々、遠賀川や筑後川、矢部川などの河川、その流域に開けた平野など、変化に富んだ豊かな自然環境を有しています。こうした恵まれた自然の中で、個性を持った多種多様な生きものが「つながり」を持って生息・生育しています。



私たちは、おいしい空気や水、食物をはじめ、衣料や紙、医薬品など、生きものたちがもたらすさまざまな恵みによって生命（いのち）をつなぎ、快適な暮らしの基盤を築いています。また、四季折々の自然に寄り添い自然と共に生きる中で、先人たちは、地域固有の伝統的な文化や習慣を育み、長い時間をかけて大切に受け継いできました。現代に生きる私たちは、日々の何気ない暮らしが生物多様性の恵みの上に成り立っていることを改めて認識し、自然や生きものと共生する豊かな暮らしや社会を次の世代へとつないでいく必要があります。

一方で、生物多様性は、開発による土地利用の変化や外来種の侵入、気候変動などによりさまざまな危機にさらされています。世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、人獣共通感染症の一つとされていますが、こうした感染症が多発する要因には、生態系の劣化や気候変動などによる影響があると考えられています。このように生物多様性を守ることは、人と動物の健康と環境の健全性を一つとして捉え、一体的に守ろうというワンヘルスの観点からも重要かつ喫緊の課題となっています。

このため福岡県では、生物多様性を守り、その恵みを持続的に利用する視点から、2050年に実現を目指す社会の将来像を掲げるとともに、今後5年間の取り組みの方向性や実施すべき施策をとりまとめた「福岡県生物多様性戦略2022-2026」を策定しました。

この社会を実現するためには、行政はもとより、県民、NPO・ボランティア団体、事業者などの多様な主体が、互いに連携・協働して取り組んでいくことが大切です。

県民の皆さまと生物多様性に関する認識を共有し、自然と共生する社会づくりに取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

2022（令和4）年3月

福岡県知事 服部 誠太郎

# 目次

<b>第1章 福岡県生物多様性戦略の策定にあたって</b>	<b>1</b>
1. 生物多様性とは	2
(1) 生きものに支えられる私たちの暮らし	2
(2) 生物多様性の概念	5
(3) 生物多様性の4つの危機	7
2. 生物多様性をめぐる最近の動向	8
(1) 世界的な動向	8
(2) 国内の動向	15
(3) 県内の動向	16
3. 戦略の基本的事項	19
4. 第2期行動計画の実施状況	21
<b>第2章 福岡県の生物多様性の特徴</b>	<b>25</b>
1. 生物の生息・生育環境の基盤	26
(1) 地形	26
(2) 地質	27
(3) 地史	28
(4) 気候	29
(5) 海域の環境	30
(6) 植生	31
2. 本県の生物多様性の特徴	35
(1) 県全体の特徴	35
(2) 4つの流域圏	36
3. 人と自然の関わりの歴史	44
4. 本県の自然が育んだ文化	48
(1) 食文化	48
(2) 生業（なりわい）	49
(3) 祭りなどの伝統文化	53

<b>1. 項目別の現状と課題</b> .....	56
(1) 絶滅危惧種 .....	56
(2) 保護区と生態系ネットワーク .....	62
(3) 野生鳥獣 .....	66
(4) 外来種 .....	68
(5) 地球環境の変化 .....	70
(6) 人間活動の影響 .....	73
<b>2. 生態系別の現状と課題</b> .....	75
(1) 森林生態系 .....	75
(2) 農地生態系 .....	79
(3) 都市生態系 .....	82
(4) 陸水生態系 .....	84
(5) 沿岸・海洋生態系 .....	86
<b>3. 生物多様性を支える活動に関する現状と課題</b> .....	90
(1) 多様な主体による活動 .....	90
(2) 情報整備と科学的知見の蓄積 .....	94

<b>1. 目指す社会（2050年に実現すること）</b> .....	96
<b>2. 目指す社会のイメージ</b> .....	97
(1) 2050年の人々の暮らしや社会の様子 .....	97
(2) 2050年の各地域のイメージ .....	98
(3) 2050年における都市と里地里山里海のイメージ .....	103
<b>3. 目指す社会の実現に向けた4つの行動指針と12の目標</b> .....	104

<b>1. 基本的な考え方</b> .....	108
(1) 行動計画の施策体系 .....	108
(2) 重点プロジェクト .....	109
(3) 行動計画策定の視点 .....	110

<b>2. 行動計画</b> .....	111
行動指針 1 私たちの暮らしのなかで生物多様性を育みます .....	111
目標 1-1 【自然や生きものの豊かさを体感する】 .....	111
目標 1-2 【地産地消・持続可能な消費】 .....	116
目標 1-3 【里地里山里海の恵みの継承】 .....	120
行動指針 2 生物多様性の保全と再生を図ります .....	122
目標 2-1 【重要地域の保全・生態系ネットワークの形成】 .....	122
目標 2-2 【絶滅危惧種の保護・回復】 .....	126
目標 2-3 【ワンヘルスを踏まえた生態系管理】 .....	128
目標 2-4 【開発事業における生物多様性への配慮】 .....	132
行動指針 3 生物多様性の恵みの持続可能な利用を図ります .....	139
目標 3-1 【持続可能な農林水産業を通じた生物多様性の向上】 .....	139
目標 3-2 【事業活動における生物多様性への配慮】 .....	147
目標 3-3 【自然環境や生態系を活用した解決策の取組】 .....	149
行動指針 4 生物多様性を支える基盤とネットワークを構築します .....	152
目標 4-1 【多様な主体の参加と協働】 .....	152
目標 4-2 【生物多様性情報の収集・整理・活用】 .....	156

## 第 6 章 推進体制と進行管理

159

<b>1. 推進体制</b> .....	160
(1) 多様な主体の連携・協働による推進 .....	160
(2) 庁内及び関係組織による推進体制 .....	162
<b>2. 進行管理</b> .....	164
<b>3. 指標</b> .....	166
(1) 数値目標 .....	166
(2) 参考となるその他の指標 .....	167

## 資料編

資 1

<b>1. 福岡県生物多様性戦略と SDGs との関係</b> .....	資 2
<b>2. 愛知目標と達成状況</b> .....	資 9
<b>3. 福岡県生物多様性戦略第 2 期行動計画の実施状況と評価</b> .....	資 10
<b>4. 県民の意向把握</b> .....	資 22
<b>5. 福岡県生物多様性戦略策定の経緯及び体制等</b> .....	資 34
<b>6. 用語解説</b> .....	資 37
<b>7. 引用文献</b> .....	資 55



## コラム

1. 生態系サービス.....	4
2. ワンヘルス・アプローチと生物多様性.....	14
3. 自然を活用した解決策 (NbS) .....	18
4. 中山間応援サポーター制度.....	24
5. 福岡県生物多様性地理情報システム.....	34
6. 福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例.....	61
7. その他の効果的な地域をベースとする手段 (OECM) .....	63
8. 生態系ネットワーク.....	65
9. 生態系を活用した適応策 (EbA) .....	71
10. グリーンインフラと生態系を活用した防災・減災 (Eco-DRR) .....	74
11. 人工林から広葉樹林・針広混交林への誘導.....	78
12. 福岡都市圏のヒートアイランド現象.....	83
13. 生物多様性の観点から重要度の高い海域 (EBSA) .....	88
14. 福岡県生物多様性情報総合プラットフォーム 「福岡生きものステーション」.....	115
15. 食育・地産地消県民運動「いただきます！福岡のおいしい幸せ」.....	119
16. 希少植物ガシャモクを守るための活動.....	127
17. 侵略的外来種防除マニュアル・リーフレット.....	131
18. 生物多様性に配慮した河川整備.....	138
19. 森林の有する多面的機能と荒廃森林の再生.....	142
20. つなげたい！古賀の生命（いのち）伝えたい！共に生きる力 —生物多様性古賀戦略—.....	155

※目次中「第5章 行動計画」に記載している目標は、それぞれの目標の内容を要約した略称を使用しています。詳しくは第4章 (p.104~106)、第5章 (p.108) を御覧ください。